

福島第一・福島第二原子力発電所免震重要棟ならびに  
 福島第一原子力発電所敷地内地表面において  
 平成 23 年東北地方太平洋沖地震の際に得られた地震観測記録について

1．福島第一・福島第二原子力発電所免震重要棟における地震観測

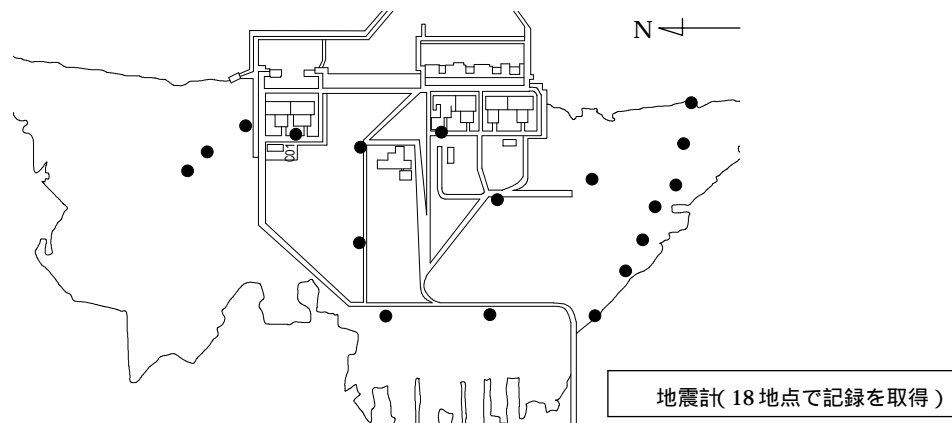
免震重要棟における免震装置の効果の把握を目的に実施していたもので、免震装置より下部の地下ピット内、および免震装置より上部の建物内部（福島第一では1階および2階、福島第二では1階および3階）へ地震計を設置して観測を実施しておりました。観測された記録より、免震装置が設置されている水平方向においては、建物の揺れが地下の揺れよりも大幅に小さくなっており、免震装置の効果が確認されました。

免震重要棟において観測された最大加速度値（単位：ガル）

福島第一				福島第二			
観測位置	南北方向	東西方向	上下方向	観測位置	南北方向	東西方向	上下方向
2階	155	185	621	3階	154	157	581
1階	176	213	516	1階	184	226	463
地下階	582	756	446	地下階	411	334	324

2．福島第一原子力発電所敷地内の地表面における地震観測

敷地内の広範囲にわたる地盤振動特性の把握を目的に実施していたもので、平成 22 年度から 5 年間の計画で、敷地内の複数地点において地表面へ地震計を設置して観測を実施しておりました。地震計を設置した地点は、地表付近の地盤の状況や地盤面の高低差など、それぞれ条件が異なっておりますが、水平方向の最大加速度値で 379～1057 ガルの記録を取得しています。



敷地内の地表面において記録を取得した地点

以上